2008 年 1 月 22 日
野村不動産ホールディングス株式会社

報道関係者各位

野村不動産インベストメント・マネジメントの運用ファンドにて
「津田沼サンペデック」を再生、大型商業施設「Morisia（モリシア）」誕生
～ジオ・アカマツ社のグループ参入で、商業施設セクターへの投資を加速～

野村不動産ホールディングス株式会社（本社：東京都新宿区　取締役社長：鈴木弘久）は、全額出資子会社である野村不動産インベストメント・マネジメント株式会社（以下　ＮＲＥＩＭ社）が、同社の運用する私募ファンドにて、JR 津田沼駅前の「津田沼サンペデック」を再生し、大型商業施設「Morisia（モリシア）」として、本年3月にリニューアルオープンすることとなりましたので、お知らせいたします。

「津田沼サンペデック」は、千葉県有数の商業集積エリアである JR 津田沼駅前に所在する延床面積約 93,000 ㎡の大型複合施設です。併設する「習志野文化ホール」と共に、1978 年の開業以来、地域に親しまれてまいりました。NREIM 社では、メインテナントが退去していた同施設に対して、大規模リノベーションと多彩なテナントミックスを行う事により、施設の魅力向上、及び、地域発展と賑わいの創出が可能と判断し、私募ファンドによるバリューアップを推進してまいりました。

施設名称は「Morisia（モリシア）」。コンセプトを、『“日常のちょっとうれしい”が満載のショッピングセンター』とし、100 店舗以上の専門テナントを誘致いたします。感度の高い 20～30 歳台のファミリー層をメインターゲットとし、生活にプラスアルファの潤いを提供いたします。駅前公園や建物内ポケットパークの「自然・緑」、習志野文化ホールに代表される「地域文化」とも融合する施設創造を図ります。

NREIM 社では各セクターの私募ファンドを運用しており、当物件を含めた商業施設系の資産運用総額は 2000 億円規模に達しております。昨年 7 月に野村不動産グループの一員となった株式会社ジオ・アカマツの商業施設運営ノウハウを活かし、更なる投資規模の拡大に積極的に取り組んでまいります。

尚、野村不動産グループでは、NREIM 社が運用する私募ファンドに加え、野村不動産投信株式会社にて「野村不動産オフィスファンド投資法人」、「野村不動産レジデンシャル投資法人」を運用しております。『オフィス』、『賃貸住宅』、『物流施設』、『商業施設』等、多様なセクターでのファンド展開により、今後とも都市環境創出に貢献する資産運用事業を行ってまいります。

【Moricia（モリシア）物件概要】

住居表示	千葉県習志野市谷津 1 丁目 16 番 1 号
交通	ＪＲ総武線「津田沼」駅徒歩 2 分
全体敷地	16,707.61 ㎡（公簿）
延床面積	93,632.42 ㎡（※）
構造・規模	鉄骨鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ・鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造　陸屋根地下 3 階付地上 12 階

※延床面積については、習志野文化ホールの面積を含みます。

以　上

本件に関するお問い合わせ窓口
野村不動産ホールディングス株式会社　広報 IR 部（片山・石川・藤田）
ＴＥＬ０３－３３４８－８１１７　・　ＦＡＸ０３－３３４３－０４４５

【Morisia リニューアル 完成予想図】

【デッキ 完成予想図】

【1階 完成予想図】